B　本システムの主な利用者は、本学の学生約3,300名並びに教員及び職員約200名とする。また、一部の機能については、身元保証人（保護者）が利用することを想定し、本学が指定する情報を安定して参照できる利用環境を提供すること。学生、教員、職員及び身元保証人（保護者）が、それぞれに必要な機能及び情報を安全かつ円滑に利用できるシステムであること。

C　学生、教員及び職員が利用できるWebシステムを有すること。学生及び教員が利用する機能については、原則としてWebシステムにより実施できること。職員が利用する業務については、Webシステム及び専用アプリケーションシステムにより、効率的に実施できること。各利用者が利用できる機能及び参照できる情報については、本学が定める利用者区分、権限及び公開範囲に基づき適切に制御できること。また、履修登録、成績登録、合格発表その他利用が集中する時期においても、利用者の業務及び操作に支障を生じさせることなく、安定した処理を行えること。

D　共通マスタ、学籍、カリキュラム、履修、成績、進級・卒業等の判定、休講・補講、シラバス、掲示、出欠、面談記録、授業評価等のアンケート、各種申請その他本学が必要とする学務情報を一元的に登録、管理及び参照できる機能を有すること。

　また、学部から大学院博士前期課程、大学院博士前期課程から大学院博士後期課程への進学等により学籍番号が変更された場合であっても、同一人物に係る複数の学籍情報を関連付けて管理し、過去の学籍情報、履修情報、成績情報、面談記録その他の関連情報を継続して参照できること。さらに、学務情報については、本学が必要とする条件により検索、抽出及び出力できること。また、抽出した情報については、ＣＳＶ形式、Excel形式その他本学が指定する形式で出力できること。

E　学生ポートフォリオにおいては、学生の学籍情報、履修情報、成績情報、出席状況、面談記録その他修学支援に必要な情報を一元的に表示し、学生の状況を総合的かつ迅速に把握できること。

　学習・教育目標別に算出したＧＰＡ及びディプロマ・ポリシー別に算出したＧＰＡ等を一覧表示及び印刷でき、学生の学修状況及び学修成果を総合的に確認できること。

　学生の自己学習時間について、登録、管理及び参照を行えるとともに、学習状況を継続的に把握するための一覧表示及びグラフ表示等に対応できること。

　出欠管理については、本学の運用に応じた出欠確認方法により、学生の出欠情報を登録、管理及び参照できること。また、出欠確認に必要なＩＣカードリーダー又はこれに代わる出欠確認機器を導入し、本システムと連携して運用できること。

　健康診断情報管理については、学生が受診した定期健康診断の結果を登録及び管理し、学生本人及び本学が指定する権限を有する者が参照できること。

　大学院学生の研究業績管理については、本学が指定する大学院学生が、学会発表及び学術誌に掲載された論文等の研究業績を登録及び管理し、当該情報を学生ポートフォリオ等から参照できること。

F　シラバス、掲示、授業評価等のアンケート、休講・補講その他授業及び教育活動を支援するための機能を有すること。

　シラバスについては、学生及び教職員がWebシステムから検索及び参照できるとともに、本学が指定する項目について、日本語及び英語による表示又は出力に対応できること。

　掲示については、授業、個人、所属、学年、身分その他本学が指定する条件に応じて発信対象を設定できること。

　授業評価等のアンケートについては、対象授業科目の設定、回答、集計、参照及び集計結果の出力を行えること。

G　身元保証人（保護者）ポータル機能を有し、本学が指定する学生の学籍情報、履修情報、成績情報、出席状況、成績確認書、掲示情報その他の情報を、当該学生の身元保証人（保護者）に提供できること。

　また、身元保証人（保護者）へ提供する情報については、本学の運用に応じて、情報項目及び学生ごとに閲覧可否を設定できること。

　身元保証人（保護者）は、本学から提供された成績確認書その他本学が指定する書類を、Webシステムからダウンロードできること。

H　願者管理、入学者選抜の実施及び管理、合否判定、合格通知その他本学の入学者選抜業務を支援する機能を有すること。

　また、入学者選抜機能において管理する志願者情報及び合格者情報については、入学後の学籍情報等へ円滑に引き継ぐことができること。

　なお、本学としては、入学者選抜機能から学籍管理機能までを一体的に利用できる構成が望ましいが、同一の製品又は同一のサブシステムによる構成を必須とするものではない。

I　授業料等管理及び寄宿舎管理その他本学が必要とする学生関連管理業務を支援する機能を有すること。

　授業料等管理については、授業料その他本学が徴収する料金に係る納入管理、口座管理、免除・徴収猶予管理、請求管理及び学費請求書等の印刷その他の収納業務を支援できること。また、長期履修学生、休学者その他正規の授業料体系と異なる学生についても、本学が定める条件に基づき、適切な請求額及び免除額を算出及び管理できること。さらに、授業料等については、免除、徴収猶予、分納及び延納等の管理を行い、本学の運用に応じた請求及び収納業務を支援できること。

　寄宿舎管理については、入退寮者、寄宿料、居室その他本学が必要とする寄宿舎関連情報を登録及び管理できること。

J　成績証明書、在学証明書、卒業・修了証明書、健康診断証明書その他本学が指定する各種証明書を発行できること。

　各種証明書については、学籍情報、履修情報、成績情報、健康診断情報その他本学が管理する情報に基づき、適切に作成及び発行できること。

　また、既存の証明書自動発行機と連携し、夜間バッチ処理等によるデータ転送を行うことなく、本システムに登録された情報に基づいて証明書を発行できること。さらに、証明書の種類に応じて、日本語及び英語による証明書の発行に対応できること。

K　本システムは、システムの可用性及び信頼性の向上、災害その他の不測の事態における業務継続性の確保並びに安定的な運用を実現するため、クラウドサービスを利用した構成とし、原則としてIaaS型のクラウド基盤上に構築すること。

　クラウド基盤については、本システムの運用期間を通じて、学務情報を安全かつ安定的に管理するために十分な処理性能、可用性、信頼性及び機密性を確保できること。

　また、災害、障害その他の不測の事態が発生した場合において、早期の復旧及び業務継続を可能とする構成とすること。

L　利用者認証、アクセス制御、権限管理、通信及び保存データの保護、操作ログの取得及び保全その他学務情報を適切に保護するためのセキュリティ機能を有すること。学生の成績、健康診断結果、面談記録その他の個人情報については、本学が定める利用者区分、権限及び公開範囲に基づき、登録、更新、参照及び出力の可否を適切に制御できること。

　また、セキュリティ上の脆弱性及び問題が確認された場合には、必要な情報提供及び対策を速やかに実施できること。

M　本システムの一部機能については、日本語及び英語による表示又は出力に対応できること。

　対象となる機能及び情報については、シラバス、各種証明書、学生の氏名及び所属情報、大学院学生の研究業績管理その他本学が指定するものとする。

N　現行学務情報システムに登録されている学籍、カリキュラム、履修、成績、判定、面談記録その他本学が指定する情報について、卒業生及び修了生を含む全履歴を本システムへ移行できること。

　データ移行にあたっては、データの欠落、重複、文字化け及び関連情報の不整合等が生じないよう、移行対象、移行方法及び確認方法について本学と協議の上で実施すること。